



個別のユーザ アカウントの修正または削除

Cisco Unity Connection のユーザ アカウントを作成した後、場合によっては、設定を調整したり（ユーザ パスワードをリセットする、ユーザの新しい通知デバイスを設定するなど）、アカウントを削除したりする必要があります。

次の項を参照してください。

- [個別のユーザ アカウントの修正 \(P.13-2\)](#)
- [個別のユーザ アカウントの削除 \(P.13-3\)](#)

個別のユーザアカウントの修正

Cisco Unity Connection の管理の [編集 (Edit)] メニューの使用可能なページで、個別のユーザのアカウントの設定を修正します。

メールボックス ストアから別のメールボックス ストアにメールボックスを移動する方法については、『Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド』の「[メールボックス ストアの管理](#)」の章を参照してください。

次の設定においては、[エイリアス (Alias)] (Cisco Unified Communications Manager の管理ページでの [ユーザ ID (User ID)])、[名 (First Name)]、[姓 (Last Name)]、[内線番号 (Extension)] (Cisco Unified CM の管理ページでの [プライマリ内線 (Primary Extension)]) などのフィールドを編集することはできません。

- Cisco Unified CMBE で、Connection ユーザが Cisco Unified Communications Manager のアプリケーション ユーザに統合されている場合。これらのフィールドは、Cisco Unified CM の管理ページでだけ更新可能です。
- Connection または Cisco Unified CMBE で、Connection のユーザデータが LDAP ディレクトリ内のデータと同期している場合。これらのフィールドは、LDAP ディレクトリでだけ更新可能です。



(注) Connection Web アプリケーションのユーザ名およびパスワードの認証に LDAP ディレクトリを使用するように Connection が設定されている場合、Connection Web アプリケーションパスワードは変更できません。

- Connection では、デジタル ネットワーキングが設定されている場合、ユーザのホーム サーバ以外のサーバではユーザのどのフィールドも編集できません。ユーザの設定は、ユーザアカウントが作成されたサーバ上で編集する必要があります。

ユーザアカウントの設定を修正するには、次の手順を実行します。

ユーザアカウントを修正する

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[ユーザ (Users)] をクリックします。[ユーザの検索 (Search Users)] ページが開きます。
- ステップ 2** 修正するユーザアカウントを見つけます。
- ステップ 3** 必要に応じて、このページで設定を変更します。[ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページで設定の変更を完了した後、[保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 4** [編集 (Edit)] メニューで、該当するページをクリックして、ユーザアカウントの設定の変更を続行します。これらのページでいずれかの設定を変更した場合は、他のページに移動する前に [保存 (Save)] をクリックします。

ユーザアカウントに関する [編集 (Edit)] メニューの使用可能な機能の詳細については、「[ユーザアカウントの設定によって制御される機能の設定](#)」の章を参照してください。

個別のユーザアカウントの削除



(注)

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) では、Cisco Unified CM の管理ページで Cisco Unity Connection のユーザアカウントを削除します (削除は、該当する [ユーザ管理 (User Management)] ページでユーザまたはアプリケーション ユーザを検索した後で行ってください)。

Cisco Unified CM の管理ページで Connection アカウントを削除する方法の詳細については、ヘルプまたは該当する『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」および「アプリケーション ユーザの設定」の章を参照してください。このマニュアルは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_maintenance_guides_list.html から入手可能です。

退職などの理由でユーザの Cisco Unity Connection アカウントが不要になった場合は、Cisco Unity Connection の管理でアカウントを削除します。

アカウントを削除するときは、次のことに注意してください。

- ユーザアカウントが Connection 内の他のオブジェクトによって参照されている場合 (たとえば、インタビューハンドラに残されたメッセージの受信者にそのユーザが設定されている場合や、そのユーザの電話に着信を転送するようにコールハンドラが設定されている場合)、それらのオブジェクトの設定を変更して、削除するユーザアカウントへの参照を削除してからでないと、ユーザアカウントを削除することはできません。ユーザアカウントを参照しているオブジェクトの設定を変更する前にユーザアカウントを削除しようとすると、削除操作は失敗します。
- 管理者は、自分のアカウントを削除することはできません。
- ボイスメールボックスを持つユーザのアカウントを削除すると、そのユーザは [すべてのボイスメールユーザ (All Voice Mail Users)] 同報リストから自動的に削除されます。
- ユーザのアカウントがボイスメールボックスを持っており、かつそのボイスメールボックスのメールボックスストアが (メールボックスストアがバックアップ中であることなどにより) 無効になっている場合、そのユーザアカウントは削除できません。
- Connection が LDAP ディレクトリと統合されている場合は、LDAP ディレクトリと Connection の両方でユーザを削除する必要があります。Connection でのみユーザを削除する場合、LDAP ユーザへの影響はありません。LDAP ディレクトリでのみユーザを削除する場合は、Connection の管理において、そのユーザの [ユーザの基本設定の編集 (Edit User Basics)] ページの [ステータス (Status)] 領域に Connection ユーザが非アクティブであることが表示されます。このステータスを手動で変更することはできませんが、48 時間が経過すると、ユーザは自動的に正規の Connection ユーザに変換され、[ステータス (Status)] 領域のメッセージが表示されなくなります。

LDAP ユーザを削除しても、Connection の機能はほとんど影響を受けません。ただし、Connection Web アプリケーションに対して LDAP 認証を使用する場合、LDAP ユーザが削除されてから Connection ユーザが正規の Connection ユーザに変換されるまでの 48 時間は、ユーザは Connection Web アプリケーションにアクセスできなくなります。48 時間が経過した後で、管理者は、Connection の管理にユーザの新しい Web アプリケーションパスワードを入力する必要があります。

個別のユーザアカウントを削除する (スタンドアロン構成のみ)

- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[ユーザ (Users)] をクリックします。
- ステップ 2** 削除するユーザアカウントを見つけます。
- ステップ 3** [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。
- ステップ 4** 削除の確認を求めめるダイアログボックスが開きます。[OK] をクリックします。
-